(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号

特開平11-155730

(43)公開日 平成11年(1999)6月15日

(51) Int.Cl.6

識別記号

FΙ

A47J 27/14 B01F 7/30 A47J 27/14

Q

B01F 7/30

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号

特願平9-364290

(71)出願人 594039952

長谷川 亮助

(22)出願日

平成9年(1997)11月28日

東京都杉並区高円寺南5丁目22番15号

(72)発明者 長谷川 亮助

東京都杉並区高円寺南5丁目22番15号

(54) 【発明の名称】 自転公転斜軸攪はん村釜

(57)【要約】

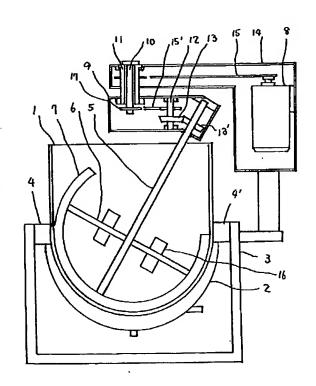
化学原料、食品材料を撹はん混合する時、装置構造上、 均一にすることが、むづかしい。

【目的】 半球釜(1)の中心上部に回転する公転箱

(9)を取付け、公転箱(9)より自転斜軸(5)を取 付けることにより、半球釜(5)の内部を円を描くよう に回転し、斜軸で材料を上下させる。

【構成】半球釜(1)の中心上部に回転する公転箱

(9)より半球釜(1)の内部に斜めに自転斜軸(5) を取付けて、撹はん羽根(7)を取付け、他端には回転 装置取り付けて撹はん混合する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】図面の半球釜の中心上部に、駆動される公 転軸に取り付けられた公転箱より半球釜の内部に斜めに 自転斜軸を取付け、それの一端には、半球釜の内面を撹 はんする撹はん羽根を取付け、他端には駆動装置を取り 付けた自転公転斜軸撹はん付釜

【発明の詳細な説明】

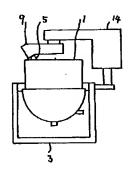
[産業上の利用分野] 化学原料、食材を撹はん混合し て、製品に仕上げる化学工業、食品工業界の利用分野で ある。

[従来の技術] 従来の自転公転撹はん機の自転軸に取付 けられた撹はん羽根は、皿状の面を自転していた。公転 せずに自転軸のみもある。

[発明が解決しようとする課題]釜に、入れる原材料が 多いと、皿状では、面積を必要とするので、機械装置が 大きくなる。それゆえ、奥深いポット状の釜が必要とな る。ポット状の釜において、公転しないで自転軸のみで あると、自転軸の先端部分の原材料は、他の個所より移 動しないで撹はんされていた。公転箱の自転斜軸の位置 を大きくすると、傾きが大きくなり原材料の移動が上下 20 となる。本発明は、半球状の釜として、原材料を自転斜 軸の撹はん羽根により、上下動させながら、公転により 自転斜軸を釜の中を、円を描くように、撹はんするの で、原材料の移動を大きくすることを特徴とした。

[課題を解決するための手段]フレーム3の取付軸4、 4′に半球釜1を取り付ける。ステンレス、鉄、銅、ア ルミ等で作られた半球釜1の底部に、ジャケット2を取 付ける。モータ箱14に取り付けられたモータ8の駆動 により、チエーン15で半球釜の中心上部にある公転軸 11を回転する。公転軸11に取り付けられた公転箱9 を回転させる。中心軸句10に取り付けたスプロケット 17、チェーン15′により歯車軸12ベベル13、1 3′自転斜軸5を回転させる。自転斜軸5に取り付けら れた取付軸6の撹はん羽根7、補助羽根16を回転させ て、原材料を撹はん混合させる。

【図1】



[作用] 半球釜の中心上部の公転される公転箱の自転斜 軸は、図1、図3に示すように向きが変わっているよう に内部を、均一に撹はんする。ジャケットに蒸気をいれ て釜を暖める。ジャケットの代りにガス、電気ヒータで もよい。

[実施例] 図3の正面全体断面図で説明する。フレーム (3)の取付軸(4)(4')に、底にジャケット (2)付の半球釜(1)を取り付ける。モータ箱(1 4) のモータ (8) により、チェーン (15) を介して 10 公転軸(11)を回転する。公転軸(11)に取り付け られた公転箱(9)を回転する。半球釜(1)の内部に 斜めに入れて自転斜軸(5)を公転箱(9)に取り付け る。自転斜軸(5)には取付軸(6)を取り付け、撹は ん羽根(7)を取り付ける。中心軸(10)にスプロケ ット(17)を取り付けチェーン(15′)で歯車軸 (12)、ベベル(13)(13')を介して自転斜軸 (5) を回転して、半球釜(1) の内部を撹はんする。 [発明の効果] 半球釜の原材料の移動しなかった部分が 公転動作でなくなり、自転斜軸により原材料を上下に撹 はんされるようになった。

【図面の簡単な説明】

[図面]

【図1】 正面全体図

【図2】 平面全体図

【図3】 正面全体断面図

【符号の説明】

1、半球釜 2、ジャケット 3、フレーム

4、4′、取付軸

5、自転斜軸 6、取付軸 7、撹はん羽

30 根 8、モータ

9、公転箱 10、中心軸 11、公転軸

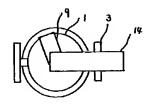
12、歯車軸

13、13′、ベベル 14、モータ箱 15、1

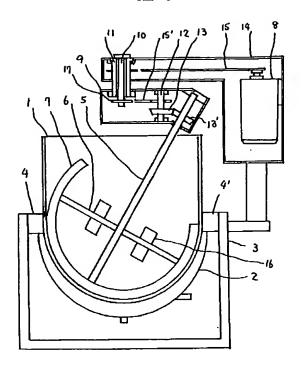
5′、チエーン

16、補助羽根 17、スプロケット

【図2】



【図3】



PAT-NO:	JP411155730A				
DOCUMENT- IDENTIFIER:	JP 11155730 A				
TITLE:	POT WITH ROTATING/REVOLVING INCLINED SHAFT STIRRING				
PUBN-DATE:	June 15, 1999				
* * .					

AWA, F	VACLUZ		
2.27	(I) WOUK	E N/A	
	# / 400 4 * *		. 4
EE-INF	ORMAT	ION:	
25.	· Signa		TRY
AWA R	YOSUKI		
		2.74	
	ja j		EE-INFORMATION: COUN AWA RYOSUKE N/A

INT-CL (IPC): A47J027/14 , B01F007/30

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To vertically move a material on an inclined shaft while making a stirrer revolve inside a semispherical pot so as to draw a circle by attaching a revolving box to the central upper part of the semispherical pot and attaching a rotating inclined shaft from the revolving box.

SOLUTION: The semispherical pot 1 with a jacket 2 on its bottom is attached to attachment shafts 4 and 4' of a frame 3. A revolving shaft 11 is revolved through a chain 15 by a motor 8 in a motor box 14, and a revolving box 9 attached to the revolving shaft 11 is revolved. A rotating inclined shaft 5 is attached to the revolving box 9 while being obliquely put into the semispherical pot 1. An attachment shaft 6 is attached to the rotating inclined shaft 5, and a stirring blade 7 is attached. A sprocket 17 is attached to a central shaft 10, the rotating inclined shaft 5 is rotated through a gear shaft 12 and bevels 13 and 13' by a chain 15', and the inside of the semispherical pot 1 is stirred.

12/1/05, EAST Version: 2.0.1.4

COPYRIGHT: (C)1999,JPO